

2016年(平成28年)度 第5回理事会議事録

日 時：平成28年11月26日（土）14：00～16：15

場 所：A P東京八重洲通り（7階Qルーム）

出席者：藤本豊士（理事長）、岡部繁男、寺田純雄、仲嶋一範、渡辺雅彦（以上、常務理事）、青山裕彦、木山博資、佐藤 真、篠田 晃、柴田俊一、島田昌一、松村讓兒、中村桂一郎、西 真弓、野田泰子、藤倉義久、八木沼洋行（以上、理事）、牛木辰男（監事）、阪上洋行、松崎利行（以上、常任幹事）、片桐 淳、中村 聡（以上、口腔保健協会）

欠席者：千田隆夫（理事）、寺島俊雄（監事）

I. 議事録署名人の選任

定款第39条の規定により、牛木監事を議事録署名人として選出した。

II. 会議記録の確認

以下の議事録が確認された。

- (1) 2016年(平成28年)度第2回理事会（平成28年3月27日開催）議事録
- (2) 2016年(平成28年)度定時社員総会（平成28年3月29日開催）議事録
- (3) 2016年(平成28年)度第3回理事会（平成28年6月17-21日開催）議事録
- (4) 2016年(平成28年)度第4回理事会（平成28年8月16-23日開催）議事録

III. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 教授就任による代議員の承認について

資料に基づき、教授就任に伴う代議員（8名）の承認が報告された。

(2) 持ち回り理事会結果について

資料に基づき、メール会議でおこなわれた第3回理事会ならびに第4回理事会の審議結果が以下の通り報告された。

第3回理事会 議題1：2017（平成29年）度以降の役員改選時の役員会進め方について、議題2：日本顕微鏡学会との連携について。いずれも賛成19、反対0であった。また挙げられた意見内容が報告された。

第4回理事会 議題1：解剖学教室における感染症対策に関するアンケート調査実施について。賛成19、反対0であった。

(3) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会第14期第3回運営委員会での議事内容が報告された。主な点として、①日本農芸化学会で女性賞が設置された、②第4回大規模アンケートが実施された（解剖学会の回答率は9.59%）、③第14回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムが開催された。なお、第14回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムへ提出された解剖学会の活動報告についても紹介された。主な点は以下の通り。解剖学会では女性会員が約18%を占め、女性理事が2人誕生した。14の委員会のうち女性委員が含まれる委員会が12委員会となり、増加傾向にある。

(4) 日本外科学会CSTガイドライン委員会報告

資料に基づき、平成28年度第1回・第2回CSTガイドライン委員会の議事録が報告された。委員会では各大学から提出された報告書の内容についての審議がおこなわれたとのこと。

(5) 解剖学教室におけるアンケート調査について

資料に基づき、解剖学教室における感染症対策に関するアンケート調査（9月21日締切）について報告された。各大学から回答を得ることができ、報告書を作成中であるとのこと。報告書は解剖体委員会と理事会で確認ののち、回答者へ報告する方向であることも説明された。

(6) 若手育成の現状と課題についてのアンケート調査について

資料に基づき、教育・若手育成委員会が実施した、若手育成の現状と課題についてのアンケート調査（10月31日締切）について報告された。集計結果を含めて平成29年度全国学術集会のワークショップで発表予定であるとのこと。

(7) その他

・平成28年熊本地震の対応について

資料に基づき、平成28年熊本地震について、4月19日に解剖学会ホームページにメッセージを掲載したことが報告された。

・日本顕微鏡学会との連携について

資料に基づき、日本解剖学会と日本顕微鏡学会との連携協定書についての説明があった。なお、本件はメール会議でおこなわれた第3回理事会で承認されている。

2. 編集報告

- (1) その他
特になし。

3. 企画・渉外報告

- (1) 2016(平成28)年度奨励賞について
資料に基づき、2016(平成28)年度奨励賞申請者7名について報告された。12月10日に選考委員会が開催される。
- (2) 一級ならびに二級認定技術者審査結果について
資料に基づき、認定一級・二級技術者審査の結果が以下の通り報告された。一級4名、二級3名の合格であった。一級技術者の審査において、本年度から実地試験はビデオ撮影による審査と実地試験評価シートを用いた口頭試問で評価した。ビデオ撮影の編集方法についての受験者からの問い合わせに対して、申請者本人が作業していることが確認できる範囲で編集可とした。
- (3) 2017(平成29)年度総会・全国学術集会準備状況について
資料に基づき、2017(平成29)年度総会・全国学術集会準備状況について報告された。
- (4) 2018(平成30)年度総会・全国学術集会準備状況について
資料に基づき、2018(平成30)年度総会・全国学術集会準備状況について報告された。
- (5) 日本医学会・日本医学会連合報告
資料に基づき、日本医学会・日本医学会連合の報告がされた。主な点は以下の通り。①医道審議会死体解剖資格審査分科会臨時委員の推薦について依頼があり、解剖学会から内山安男先生(順天堂大学)河田光博先生(佛教大学)を推薦した。②平成28年度「大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会」一よりよい男女共同参画を目指して一が12月2日開催予定である。③「日本医学会連合研究倫理委員会提言(案)」について解剖学会の意見を日本医学会連合研究倫理委員会に提出した。④「日本医学会 COI管理ガイドライン(改定案)」が日本医学会より示され、解剖学会からの意見を求められている。常務理事からは、改定案ではCOI管理を含む倫理研修の義務化が示されているが、倫理研修については基礎系の学会ではどの程度の対応を行うべきかが臨床系の学会とは異なり不明確であるとの意見が出され、日本医学会へ回答することとした。
- (6) 生物科学学会連合報告
資料に基づき、生物科学学会連合 第13回定例会議(3月5日開催)の議事録と第14回定例会議(10月8日開催)の議事内容が報告された。主な点は以下の通り。①平成29・30年度代表として中野明彦先生が選出された。②2017年度生命科学系学会合同年次大会の協賛学会について報告があった。なお、解剖学会も協賛学会となり、分子生物学会、生化学会の会員と同じ条件で大会への参加、演題発表、公募企画の提案が可能であることが説明された。③第27回国際生物学オリンピックに日本の高校生4名が参加し、4名とも金メダルまたは銀メダルを受賞した。2020年は長崎で開催予定であり、開催費用約4億円のうち約2億円については寄付で賄う予定である。その一部については生物科学学会連合加盟団体へ寄付の依頼が来る可能性がある。これについて常務理事からは、実際に寄付の依頼があった場合には開催費用の内訳などの情報を集める必要があるとの意見が出た。④日本学術会議主催 学術フォーラムでのポストク問題についての講演内容が報告され、卓越研究員事業において生物系の応募者の採用が他分野と比べて厳しい状況にあることが説明された。⑤熊本地震への対応についての生物科学学会連合からの声明を発表した。
- (7) 脳科学関連学会連合報告
資料に基づき、脳科学関連学会連合の報告がされた。主な点は以下の通り。①脳科学関連学会連合の新役員が選任されたことが報告された。連合代表は岡部繁男先生(東京大学)。②連合からブレインビー日本大会(脳科学オリンピック)寄附金のお願いがあったが、今年度は見送った。③連合から「理化学研究所における脳科学研究への期待」を理研経営陣に発信したいが、加盟団体として解剖学会の名称を記載してもよいかとの打診があり、承認することとした。
- (8) 8th APICAについて
資料に基づき、7th APICAの議事録と藤本理事長の対応について説明された。8th APICAが韓国釜山で開催されることも報告された。
- (9) IFAAについて
資料に基づき、IFAAからの文書について報告された。
- (10) Anatomische Gesellschaft(ドイツ語圏解剖学会)第111回年次大会報告
資料に基づき、藤本理事長よりAnatomische Gesellschaft(ドイツ語圏解剖学会)第111回年次大会(9月21日~24日開催)の参加報告がされた。参加者は300名程度で規模としては大きくないが、内容は優れており、解剖学会の交流相手としては適しているとの報告があった。ドイツ側とは双方の若手研究者を交換することで意見が一致したが、学会のスライド、ポスターを英語化する等の対応を検討する必要があるとの見解が示された。

- (11) その他
特になし。

4. 会計報告

- (1) 支部学術集会決算について
資料に基づき、第26回関東支部懇話会、および第71回中国・四国支部学術集会の収支報告がされた。
- (2) 2016(平成28)年度総会・全国学術集会収支決算について
資料に基づき、2016(平成28)年度総会・全国学術集会報告書の説明があった。また八木沼理事(会頭)よりお礼の言葉が述べられた。
- (3) 2016(平成28)年度中間決算書について
資料に基づき、平成28年度10月次会計報告がされた。主な点は以下の通り。収入の部では団体会費受取会費が少ないが、他はおおむね予算通りの執行状況である。支出の部もおおむね予算通りの執行状況である。特別会計(名簿作成積立金)の収入の部では名簿頒布収入として、若干の収入があった。
- (4) ホームページバナー広告募集について
資料に基づき、ホームページにバナー広告申込に関する記事を掲載したことが報告された。
- (5) その他
特になし。

IV. 審議事項

1. 名誉会員・永年会員の推薦について
資料に基づき、3名の名誉会員の推薦について審議し、いずれも承認された。
2. 申請による代議員について
資料に基づき、12名の申請による代議員申請状況が説明され、審議の結果、11名について承認された。
3. 2016(平成28)年度認定技術者功労賞について
資料に基づき、2016(平成28)年度認定技術者功労賞申請者1名について説明され、審議の結果、承認された。
4. 2020(平成32)年度総会・全国学術集会開催校について
資料に基づき、2020(平成32)年度総会・全国学術集会開催希望の届出が山口大学から提出されたことが説明され、審議の結果承認された。会頭予定者は篠田晃先生(山口大学 神経解剖講座)である。
5. 休会制度創設について
資料に基づき、休会制度創設のための解剖学会会費規程について説明され、審議の結果承認された。また、奨励賞規約には「休会期間中の申請は認められない。」との文言を加えることも承認された。
6. 解剖学雑誌刊行スケジュールの見直しについて
資料に基づき、解剖学雑誌の年1回刊行化について説明された。編集刊行業務委託先の中西印刷株式会社からは、平成29年から年1回の刊行化が可能であるとの返答があったことも説明され、審議の結果、承認された。
7. 電子的複製権の管理委託について(編集)
資料に基づき、学術著作権協会より電子的複製権の管理委託について(お願い)の文書が届いたことと、その内容が説明され、審議の結果、電子的複製権の管理委託をおこなうこととした。
8. 2017(平成29)年度事業計画案について
資料に基づき、2017(平成29)年度事業計画案について説明され、審議の結果、承認された。
9. 2017(平成29)年度仮予算書案、ならびに事務委託契約について
資料に基づき、2017(平成29)年度仮予算書案について説明された。収入の部では、ここ数年の実績に基づいているが、受取会費の減少が主な変化である。支出の部では、直近の実績と比較して大きな変化はないが、役員交代の年度になるので関係費用については28年度よりも増加する。結果として、予備費が28年度よりも減少することが見込まれる。特別会計(名簿作成積立金)については、当該年度積立金に加え、若干の名簿頒布収入が名簿の前回販売実績に基づき収入に計上されている。特別会計(特別事業費積立金)については繰越金のみ計上されている。以上の点を踏まえた審議の結果、2017(平成29)年度仮予算書案が承認された。
事務委託契約については一般財団法人口腔保健協会より再契約のお願いについて説明され、審議の結果、再契約をすることとした。
10. その他

特になし。

11. 次回理事会日程の確認

平成29年度第1回（新旧合同）2017(平成29)年1月29日（日）13：00～16：00

終了後、新理事により新理事長・新常務理事選出選挙を実施

会場 AP東京八重洲通り（7階・Gルーム予定）

上記の2016年（平成28年）度第5回理事会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人（監事）はここに記名押印する。

2016年（平成28年） 月 日

一般社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人